日精樹脂

「Made in Japan」の品質を中国製、タイ製成形機で実現、〝高品質製品〟〝高付加価値〟を追求した次世代の成形加工技術を提案」――これが日精樹脂工業の出展テーマ。つまり、日本の技術を評価しているので、どこででも高品質、高付加価値成形ができることを謳っている。

ブースでは、タイ製のハイブリッド式高性能射出成形機「FNX1803T―36A」にて、PMMA製化粧品肉厚容器角瓶2個取り、中国製の電気式高性能射出成形機「NEX80ⅢT―5E」にて金属成形（MIM）を行った（写真6）。金属成形では携帯SMホルダーを4個取りで実演した。化粧品容器角瓶の成形では、パレットチェンジャーなどを配置し、自動化システムを構築した。

日精樹脂の花岡茂取締役営業本部長は「このような自動化システムは、日本では常識だが中国ではこれからなので出展した」と説明した。さらに花岡氏は、「LEDは競争が激しいので、他需要向けの射出成形機が必要だ。今回の展示をみても脱・電子部品の傾向がみられる。われわれは、日用家庭用品の将来の展開を模索している」と打ち明けた。さらに今回、金属成形で携帯のSMホルダーを成形実演したが、金属成形について、「顧客はかなり多くあるのではないか。用途は多様で現在どのようなマーケット構造になっているのかを知りたい」と語り、金属成形はまだ緒についたばかり、との印象を受けた。

同社の展示ブースはプラスチック分野の目抜き通りにあり、多くのビジターで混雑し、新たな取り組みに強い興味が示された。

最後に、今回のDMPで、特にセミナーでトピックスとなったIndustry 4.0, Made in China 2025の動きへの考えとわが国の現状を伺った。花岡氏は、「モノをいかに合理的に作るかの進歩を目指すものだが、日本では多くの製造業で普通のこととして取り組んでおり、わが社も当然進めている」と語り、当然の成り行きと受け止めている様子が伺えた。

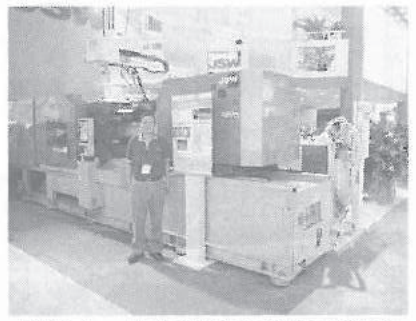
写真5　日本製鋼所の日本製全電動射出成形機“J280ADS-460H”と菊川健治氏

写真6　日精樹脂工業のブースと花岡茂氏

東洋機械金属

東洋機械金属は、中国の代理店のブースに2機種を展示・実演した。いずれも全電動射出成形機。中国製の「Si―130Vcs」（写真7）と日本製の「Si―180―6」で、それぞれ、PC製導光板と組み合わせるバックライトユニットパーツとPC製導光板を成形した。日本製は高速機なので、この機種でないとできない製品を成形してアピールした。高速機とはいっても射出速度1、000㎜／s、成形した導光板のサイズは5・8インチ、厚み0・33㎜で、ちなみに日本国内では射出速度は1、200㎜／sの機種を販売している。

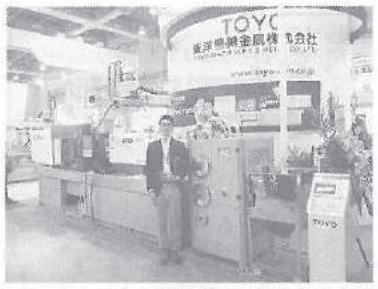
写真7　東洋機械金属の中国製全電動射出成形機“Si-130Vcs”と高橋亨氏

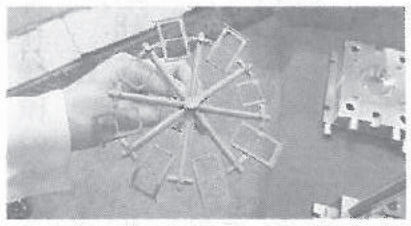
写真8　中国・海天（Zhafir）の金属成形機“Venus シリーズ”で成形した携帯ホルダー

東洋機械金属（廣州）貿易の高橋亨営業経理は「薄さについてはユーザーの皆様に評価して戴き、必要なものは提供していく」と前置きしたうえで、「中国では日本製の高級機は必要とされていない」と述べた。

ここ数年の同社の展示を見てきたが、日本企業の多くが導光板成形で競いあっている中で、同社の特長は成形機よりも搭載している金型に特長があった。というのも、現地の金型メーカーを東洋機械金属流に徹底教育し、同社の成形機に搭載する金型の完成品を製造、コスト面からも大幅削減を実現し他社と差別化してきたが、このさらなる進歩を伺うと、高橋氏は「この方法は昨年で終了した」との答えで、理由は「教育した現地金型メーカーが技術を身につけ自身で作れるようになり、代理店の許可をとってわが社以外の金型も作るようになった」と語り、さらに「金型の教育を通じて中国社会に貢献したと思っている。一方で、教育を受けた金型メーカーの技術者達が、DMPで、多くの人に〝東洋機械金属の成形機を使ったら〟と勧めてくれるので、事実上新規ユーザーが増えている」と語り、相好を崩した。

同社のブースにはMIM成形品が参考出展された。

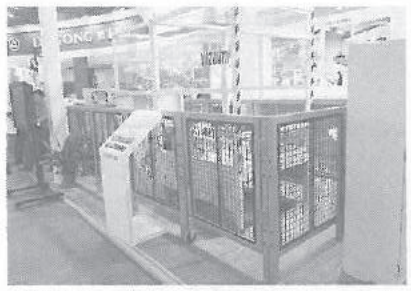
写真9　中国・伊之密のブースでスカラロボットが活躍

海外の射出成形機――

中国企業2社が金属成形、全般的に新味みられず

海外といっても中国・香港・台湾製がほとんどを占めるMIM成形機の出展はなかったが、多くの射出成形機メーカーが出展したことを予期しての参考出展といえる。今後の市場ターゲットは「自動車」と明言した。

その中から進んだところを挙げると、中国の海天（Zhafir）と伊之密が金属成形機を出展、携帯部品を成形し（写真8）、さらに伊之密は5・5インチ、0・35㎜厚の導光板を成形、自動化システムでも進歩をみせた（写真9）。香港の震雄は今回も出展せず、百科机械、L.K.仁興などの常連の射出成形機にも新しさが見られず、香港勢は振るわなかった印象が強い。

※ここに掲載した以外に取材した多くの企業の内容を割愛した。ご協力戴いた諸氏に御礼申し上げる。

（アーイン社・フリーランサー：高橋　亨）

フィリピンに駐在員事務所を設立

松井製作所

㈱松井製作所は、このほどフィリピンに駐在員事務所「MATSUI MFG.（SINGAPORE）PTE. LTD. Philippines Representative Office」（代表者・千葉暁博氏）を設立し、業務を開始した。顧客へのより一層きめ細やかなサポートをはじめ、市場のニーズに的確かつ迅速に応えるために開設した。

フィリピン駐在員事務所の登録住所はリザール州になるが、実質的な拠点はマカティ市内に置き、日本人スタッフ1名が常駐する。

なお、松井製作所は日本、アメリカ、メキシコ、ブラジル、中国、韓国、台湾、ベトナム、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、ドイツの14ヶ国48拠点で事業を行っており、海外では6工場（中国2工場、タイ、韓国、インド、アメリカ）、34販売拠点を展開している。

GIRIE EXPO　2016 DMP www.dmpshow.com

広東国際
ロボット・インテリジェント機器博覧会
Guangdong International Robot and Intelligent Equipment Exposition

第18回 東莞 国際金型・金属加工、プラスチック・包装展
18th DMP China Dongguan International Mould, Metalworking, Plastics & Packaging Exhibition

6th International (Dongguan) Metal Casting Show
第6回国际(东莞)铸造展

華南国際シートメタル＆レザー機器展・3Dプリント展

2016年11月29日(火)-12月2日(金)
広東現代国際展覧中心（広東省・東莞市・厚街）

空前の規模！
5,500小間
1,400出展社
100,000来場者

東莞国際プラスチック展2016は最先端ハイテク産業の中国最大の生産地・東莞で開催する華南最大の実需直結型見本市です！
ニューバイヤー優待、ホテル・スポンサーシップもご利用下さい。

主催者：
訊通展覧公司
東莞市機械工業協會
www.dmpshow.com

後援：
JPM Association of Japan Plastics Machinery 日本プラスチック機械工業会
HKTDC Hong Kong Trade Development Council 香港貿易発展局

日本総代理：
株式会社 ナード・インターナショナル
Tel: (06) 6945-0004
E-mail: naad@oak.ocn.ne.jp
http://www.naadinternational.com

資料请求：
讯通展览公司 Paper Communication Exhibition Services
Tel: (852) 2763 9011, 020-8761 2356, 021-6304 5419
info@paper-com.com.hk

クリーン ワイヤー
スクリュー（射出成形機、押出機、中空成形機）を速く経済的かつスクリュー本体をいためずに完全に清浄します。
◎材　質：銅
◎幅190mm　長さ15m　1巻3kg
■定価15,000円（税別）

ハイ スクリーン
生産性向上のためにハイスクリーンをご使用下さい。貴社にて御使用中の金網の材質・網目・直径を御一報下されば同じ見本と見積書を御送り致します。
◎材　質：ステンレス
◎メッシュ：20メッシュ～300メッシュ
規格寸法各種在庫あり、即納致します。
■モネル・ハステロイ等受注生産致しております。
■円筒形ストレーナー、重層スクリーンパック、アルミリング付製作も致します。

曙金網産業株式会社
〒120-0038 東京都足立区千住橋戸町22
TEL(03)3882-2211 FAX(03)3879-0211
URL:http://www.akebono-net.co.jp